

(様式3)

校種	④・中	学校番号	4	学校名	宇都宮市立築瀬小学校
----	-----	------	---	-----	------------

## 令和2年度 児童生徒指導に関する取組

### 1 児童生徒指導上の主な実態

#### (1) 問題行動等調査から

- ・いじめ、暴力行為については、その時その場での組織的対応や全職員の共通理解を図った指導、支援を繰り返して行うことで、大きな問題となる状況は見られていない。
- ・不登校傾向のある児童に対しては、関係機関と連携を続け、支援している。

#### (2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・児童は、学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気の中で生活していると感じているのに対し、授業と生活のきまりやマナーを守って生活していると感じている肯定的割合が低い。
- ・友達や地域の人に、感謝の気持ちや思いやりの心を持って接していると、肯定的に捉えている児童の割合が高い。
- ・身近な人達に対するあいさつはよくできているが、地域の方々に対しては、意識の低い児童が多い。

#### (3) 学校生活の状況から

- ・児童の多くは、元気に明るく生活していて、素直に話を聴いたり、行動したりすることができる。
- ・あいさつの習慣が徐々に定着してきているが、個人差があり、全体指導と個別指導を繰り返す必要がある。
- ・休み時間の過ごし方や廊下の歩行の仕方については、きまりをあまり守れない児童もいる。

### 2 今年度の重点目標

基本的な生活習慣や判断力を身に付け、相手を思いやり、互いに協調しながら学校生活の向上に努める児童の育成と、自治的活動等とおした望ましい集団づくりの推進

### 3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和2年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、不登校対策における取組のうち重点は文頭に○）

#### (1) 基本的な生活習慣の育成

□あいさつ強調週間＜旭中学校生徒会と連携した「あいさつ集会」の実施＞

- ・心のこもったあいさつ運動の実施（通年）

□「生活目標」や「やなぜよい子の一日」をもとにした生活指導の徹底（通年）

#### (2) 規範意識の醸成や「他者を思いやる心」の育成

★○道徳の時間や学級活動などにおいて、いじめ・人権を題材にした授業の実施（5月、12月）

□「ありがとうの会」の実施（12月）

#### (3) 望ましい集団づくり

★□○いじめゼロ強調月間と連携した「いじめ根絶集会」やアンケートの実施（5月、10月）

- ・人権週間の実施（12月）・児童集会や縦割り班活動による異学年交流（通年）

○Q-U（6月（5学年は11月も））を生かした学級経営（通年）

#### (4) 個に応じた指導の充実

○教育相談週間の実施（6月、12月）

★□○不登校の児童に対する対応方針の明確化と根気強い取組の推進

#### (5) 家庭・地域・関係諸機関との連携

□インターネットや携帯電話の危険性や適切な利用、使い方の約束「宮っ子ルール共同宣言」等を話題にした学年・学級懇談会等の実施

- ・児童会を中心とした「ありがとうの会」の実施
- ・学校・学年だより等保護者あて通知を通した学校教育方針の周知と協力依頼
- ・地域の関係諸機関との連携を密にした児童の校外生活の安全と充実